

平成17年度 八戸市公共事業再評価シート

17-	評価対象事務事業名	こどもの国整備事業	担当部署(電話)
			都市開発部公園緑地課公園整備グループ (内線520)

再評価実施要件	<input type="checkbox"/> 事業採択後	<input checked="" type="checkbox"/> 5年経過	<input type="checkbox"/> 未着工	<input type="checkbox"/> (その他)		→ 再評価実施要綱第3条第1項第3号該当
	<input checked="" type="checkbox"/> 再評価実施後	<input type="checkbox"/> 10年経過	<input checked="" type="checkbox"/> 継続中			

1 事業の概要

	施策コード	大施策	中施策	小施策	基本事務事業	満足度順位	重要度順位	要求度ランク
総合計画の 施策の体系	2010301	第2章 潤いと安らぎに満ちた生活環境づくり				2位 /7	2位 /7	A
		01 快適な生活環境の整備				23位 /38	19位 /38	C
		03 都市緑化の推進				11位 /55	22位 /55	C
		01 身近な公園・緑地の整備						

事業 方法	<input checked="" type="checkbox"/> 国庫補助事業
	<input type="checkbox"/> 県補助事業
	<input type="checkbox"/> 市単独事業
財源 負担	<input checked="" type="checkbox"/> 国 50 %
	<input type="checkbox"/> 県 %
	<input checked="" type="checkbox"/> 市 50 %

採択年度	昭和56年度	(用地着手 昭和56年度)	(工事着手 昭和56年度)
終了年度	平成25年度	平成14年 1月工期変更	(変更前の終了年度 平成 20年度)

目的	子供から大人まで一日中楽しく遊べる場として、また、災害時の広域避難地や、さらには都市緑化推進の情報発信基地としての役割など、市民の生活環境への関心や余暇増大等に伴う多様なニーズに対応した、八戸圏域を代表する屋外レクリエーション施設の核として、当公園の整備を行うものである。	内容	施設の内容		ha		
				ゾーン名	主な施設	計画面積	供用面積
				緑化植物園ゾーン	緑の相談所、見本園、池	5.6	5.6
				入口広場ゾーン	カナール広場、日本庭園、ローズガーデン	2.9	2.3
				駐車場ゾーン	駐車場(約1,000台)	4.2	4.2
				芝生広場ゾーン	多目的芝生広場	3.8	3.8
				展望ゾーン	展望台、滝、モニュメント(縄文親子像)	2.0	2.0
				遊園地ゾーン	ゴーカート場、大型遊戯施設(ジェットコースター他7種)	4.1	4.1
				わんぱくゾーン	わんぱく広場、キャンプ場、炭焼き小屋	1.5	1.5
				動物放牧ゾーン	サル山、動物ふれあい広場、動物舎	2.9	2.9
	サクラの杜ゾーン	サクラの樹席、マウンテンバイクコース	10.0	0			
		計	37.0	26.4			

事業費	○ 当初計画時総事業費 5,130 百万円		○ 再評価時総事業費 5,000 百万円		(単位:百万円)			
		~14年度	15年度	16年度	17年度	小計	18年度~	合計
	計 画 (うち用地費)	3,524 (767)	197 (0)	227 (0)	345 (0)	① 4,293 ② (767)	707 (0)	5,000 (767)
	【 14年 1月変更】 実 積 (うち用地費)	3,488 (603)	20 (0)	54 (0)	54 (0)	③ 3,616 ④ (603)	1,384 (164)	⑤ 5,000 ⑥ (767)

2 評価

(1) 事業の進捗に関する視点	A
------------------------	---

進 捗 状 況		計画全体に対する進捗	年次計画に対する進捗	《説明》 事業完了間際の他公園との事業費配分のからみもあり、一時的に事業費を絞り込んだことから、事業の進捗は遅れ気味であるが、これらの公園は今年度中に全て完了するため、今後は計画どおりの事業進捗が見込める。
	事業費割合	72.32 % 【③/⑤】	84.23 % 【③/①】	
	(うち用地費)	(78.62 %) 【④/⑥】	(78.62 %) 【④/②】	

(2) 事業の必要性等に関する視点 A

必要性	<p>○当公園は、毎年約50万人もの人々が来園する八戸圏域最大の屋外レクリエーションの場である。このため、H16年3月策定の「八戸市都市計画マスタープラン」やH16年3月策定の「八戸市緑の基本計画」においては、市内外の人々が集いにぎわう拠点としての整備充実や、市民ニーズの多様化に対応した拠点づくりを図る公園として位置づけられている。このことから、今後も継続した施設の充実が必要であり、市としても重点的に取り組むべき事業である。</p> <p>○当市の一人当たり公園面積は、H15年度末時点で8.81m²と県内旧8市の平均13.19m²と比較し低い水準であることや、「八戸市緑の基本計画」がH35年を目標とする一人当たり公園面積16.0m²の実現においても、当公園の開設面積の増進は必要不可欠である。</p>	市民等の声	<p>○サクラの名所を目指した公園づくりとして、H10年に桜1,000本に相当する1,000万円が寄付されている。</p> <p>○ソリ遊び用人工芝のグレンデ整備の要望がある。</p> <p>○H11年6月議会において、今後の事業見通しについて質問があり、用地取得の他、2000本を目標とした桜の植栽、マウンテンバイクコース等を順次整備すると回答。</p> <p>○H12年3月議会において、雑木林の再生や自然林を活用した、野生生物と共存共生する公園づくりができないかとの質問に対し、既存林の活用など自然環境を活かした野生生物の観察できる公園づくりに努めると回答。</p> <p>○未買収地(2.7ha)の早期取得について要望されている。</p>
------------	---	--------------	---

(3) 事業の投資効果に関する視点 B

費用対効果分析	(単位:百万円)					
	区分	主な項目	当初計画時	再々評価時	増減	
	費用項目 ◎	①	施設整備費	—	6,510.0	—
		②	用地費	—	1,202.0	—
		③	維持管理費	—	9,604.0	—
		④		—	—	—
		⑤		—	—	—
		総費用	—	17,316.0	—	
	便益項目 ◎	①	利用価値	—	2,353.0	—
		②	環境価値	—	10,825.0	—
③		防災価値	—	8,411.0	—	
④		残存価値	—	281.0	—	
⑤			—	—	—	
	総便益	—	21,870.0	—		
	B/C	—	1.26			

《説明》

➤ 費用対効果分析手法
「改訂 大規模公園費用対公園効果分析手法マニュアル」(平成16年2月(社)日本公園緑地協会発行、国土交通省都市・地域整備局公園緑地課監修)に基づく

➤ 特記事項
・なお、再評価時のB/Cについては、平成14年度からの義務づけのため、それ以前に行った事業採択時及び前回再評価時には未実施である。
・費用対効果分析は外部委託をしている。

(4) 事業のコスト縮減等に関する視点 A

コスト縮減	<p>○現況の地形や樹木を極力活かした公園づくり。</p> <p>○平成18年度から導入される指定管理者制度による、維持管理費の縮減。</p> <p>○芝生を種子播種にするなどの工事手法や、公園施設の使用材料等の見直しによる工事費の縮減。</p>
代替案	<p>サクラの杜ゾーンは、当初、動物放牧ゾーンとして熊牧場等の動物施設が計画されていたが、事業費や維持管理費の縮減、また、自然環境の保全等を考慮し、平成14年度に現整備計画に事業計画を見直した経緯がある。</p>

(5) 市民ニーズの視点 A

把握方法	平成16年3月に「八戸市緑の基本計画」の策定にあたり実施した、市民アンケートにおける代表的ニーズは
内容	<p>1. 市内の好きな緑について・・・こどもの国は種差海岸とともに他に比べ飛び抜けて高い数値(61%)となっている。</p> <p>2. 緑のまちづくりの方向性について・・・「樹木が多く水辺があり、生き物にふれあうことのできる緑地を増やす」がもっとも多く47%となっている。</p>

(6) 環境影響への視点 A

配慮手法	<p>該当項目数7項目(実施数7項目)</p> <p>○建築設計段階で新エネルギー、雨水利用システム等の導入(雨水を利用したビオトープ池の整備)</p> <p>○建築設計段階で環境負荷削減(現況地形、樹木の利用)</p> <p>○施設の緑化(公園樹木の植栽) ○建設機械、工事車両には低騒音、低振動、低排出ガスの機械を使用(特記仕様書による義務付け) ○再生資材を使用(再生AS・砕石の利用) ○農業や化学肥料の使用量削減(必要最小限の使用)</p> <p>○廃棄物の分別処分(AS、コンクリート殻のリサイクル工場への搬出)</p>
-------------	--

3 対応方針(案)

総合評価	<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 見直し	<input type="checkbox"/> 中止
理由	<p>自然とのふれあいの場を望む多数の市民の声は、当公園の整備コンセプトと合致するものである。また、当公園で開催される「八戸春まつり」には、桜を目当てに多くの人々が来園しており、今後も花見スポットとしての魅力化がさらに望まれているところである。愛称名に「八戸」を冠した「八戸公園」の名称に相応しい市を象徴する公園として、今後も施設の充実を図り市民の期待に応えるため事業継続したい。</p>		

4 行政経営検討委員会意見

総合評価	<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 見直し	<input type="checkbox"/> 中止
付帯意見	<p>指定管理者制度の導入も踏まえて、人的配置などムダのないよう、より効率的な維持管理とすること。</p>		
理由			

5 対応方針(決定)

総合評価	<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 見直し	<input type="checkbox"/> 中止
理由	<p>未開設部分の早期開設に向け、施設の整備を継続して進めるとともに、委員会の意見を踏まえ、H18年度から導入する指定管理者制度により、効率的な施設の維持管理、および、施設の活用増進に努めていくものである。</p>		